

新型コロナ感染に対する開業医の役割

当院は JR 亀田駅東口の住宅街の中に位置する整形外科の診療所です。2020 年 9 月に当院の駐車場の一角にプレハブを設置しました。2020 年 10 月より、ここで発熱外来を開始しました。有症状の人には、保険診療で PCR 検査、診療を実施してきました。

最近の傾向は周りに陽性者が出たが、保健所からは濃厚接触者と認定されなかったが心配なので自費で検査を希望する人が多くなっています。また、当院は厚生労働省と経済産業省が運営している TeCOT（海外渡航者新型コロナウイルス検査センター）に加盟しているため、県内中から、ベトナム人、ネパール人、パキスタン人等々が帰国に必要なための陰性証明書の発行希望で来られます。最近では海外出張の日本人ビジネスマンや海外留学のための学生さん達が多く来られています。

2020 年 10 月から 2021 年 7 月までの PCR 検査の総数は 1,366 件で、このうち陽性者は 11 件（1%以下）でした。しかし、2021 年 8 月はデルタ株の猛威で 1 ヶ月間で総検査数 609 件、陽性者は 27 件でした。このうち有症状での保険診療は 125 件で、陽性者は 24 件、約 20%が陽性でした。

その陽性者の内訳をみますと、年代では 10 代、20 代、30 代で 12 人と半数を占めました。

10 代の患者さんは、小学校、中学校、高校、大学に在籍している人達でした。職場感染は 11 人、家庭内感染が 9 人、学校・サークルでの感染が 5 人、経路不明が 2 人でした。

症状としては、発熱 23 人、咳は 13 人、嗅覚味覚障害 4 人、頭痛・倦怠感は 8 人、息苦

しきは4人でした。

その他に以前(3~4週間)にPCR陽性だった人が会社に復職するために陰性証明書を希望して来る人がかなりいました。しかし、この目的のためにはPCR検査は実施できない旨を伝え断っていました。(PCRはかなりの確率で感染後1ヵ月経過しても陽性にできるため)

最近、感染力の強いデルタ株の流行で家族の誰かが感染すると、一家全員が感染する傾向が強いと感じています。また、10代、20代の人達は、友人との接触で感染したケースが多かったです。自動車学校、合唱の練習での感染者も来られました。最近では、職場での子供達の感染が多いため保育士の受診が多くなっています。

2020年3月中旬に、当法人のデイサービスの職員が感染(新潟県の発生者では10番台でした)して、さらに数名の利用者様、職員の息子さんの感染が判明しました。

当時は、PCR陽性全ての方は医療機関に入院となり、2週間経て2回PCR陰性が続かないと退院できず、かなり精神的にダメージを受ける人が多かったです。

現在は、自宅や宿泊施設の療養が多いですが、当院では検査を行った翌日の朝8時半頃に結果をお知らせするために本人に直接電話連絡をしています。検査陽性を伝えた場合には、かなり動揺する人が多く、今後の療養の流れや、保健所から連絡がくるまでにやっておく事を助言しています。ここでも、精神的なケアの重要性を感じています。

現在、抗体カクテルの点滴療法が入院・外来以外にも在宅で大阪府で試行的に行われていますが、在宅医療を行う、医師の協力なくしては実施できません。コロナワクチンの個

別接種、PCR の検査、在宅療養、宿泊療養の人達の訪問診療等々、この災害時にこそ、重症者の治療で大変な病院の負担軽減のために開業医として何が出来るか模索している日々です。

(現在、当院での個別ワクチン接種は 3,804 回、PCR 検査は 2,196 名です)